

平成27年度 第3回 消費生活モニターアンケート集計結果

1 調査趣旨

◎～暮らし向きについて～

平成27年10月の月例経済報告（内閣府）では、「景気は、このところ弱さが見られるが、緩やかな回復基調が続いている。」と報告されています。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化に向かうなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動が長期化した場合の影響に留意する必要がある、としています。

このアンケートは、毎年ほぼ同じ内容で、消費者の暮らし向きの実態や意識を調査する目的で実施しています。過去の調査結果と比較することで消費者意識の変化を把握するとともに、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

◎～食品に関する意識調査～

日本では、年間約1,760万トンの食品廃棄物が捨てられています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品（いわゆる「食品ロス」）は、年間500～800万トンといわれています。この食品ロスのうちの約半分は家庭から排出されており、1人あたりの食品ロス量は、年間約15Kgと試算されています。これはご飯60膳分に相当します。現在の日本では、食べ物が豊富にあることが当たり前となっており、「もったいない」というモノを大切にする意識が薄れているように思われます。そこで、「食品」に関する意識調査を実施し、今後の消費者行政推進の参考とさせていただきます。

2 送付数 32通 回答数 29通 回答率 90.7%

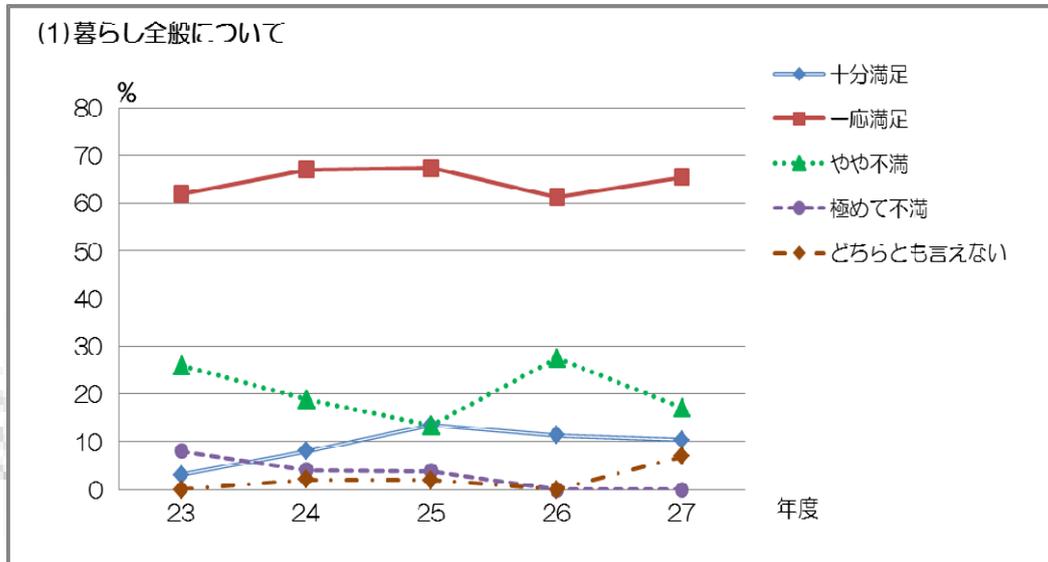
3 調査方法 往復郵送

4 調査時期 平成27年11月～12月

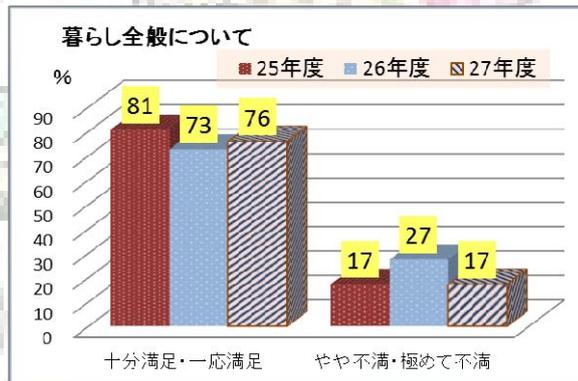


～暮らし向きについて～

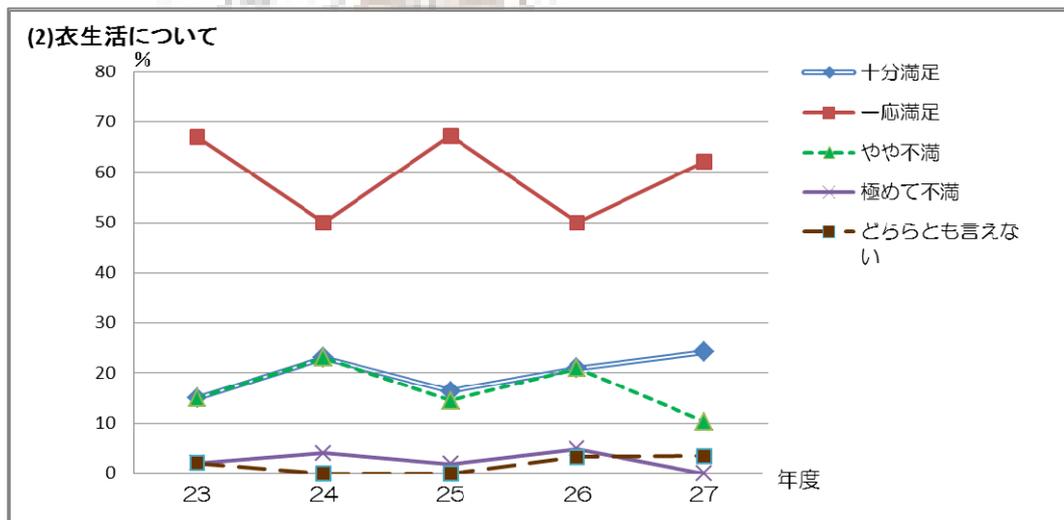
問1 あなたの家庭の暮らし向きについてお伺いします。次の各項目について、それぞれ当てはまる番号を1つお選びになり、○印を付けてください。



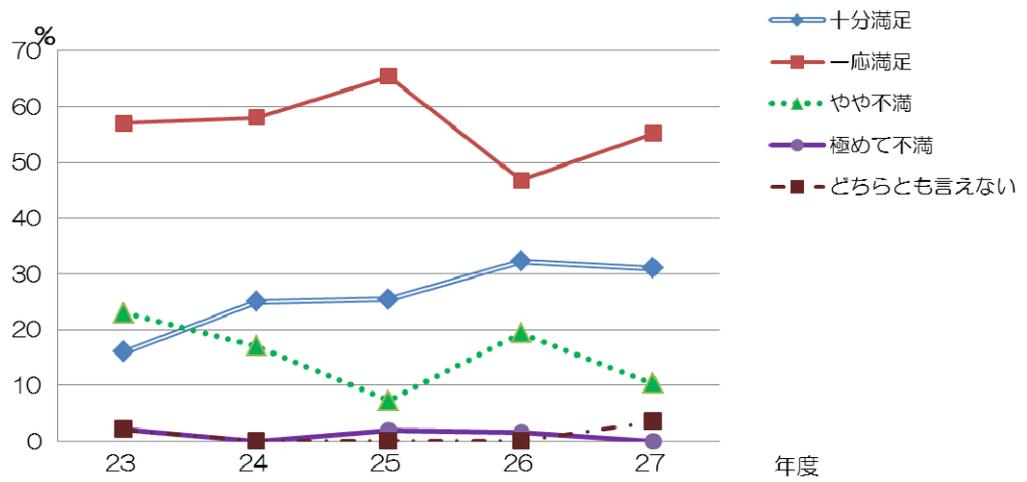
★ 暮らし全般については、『やや不満』が昨年よりも減少し、『一応満足している』『どちらとも言えない』の回答が上昇しています。



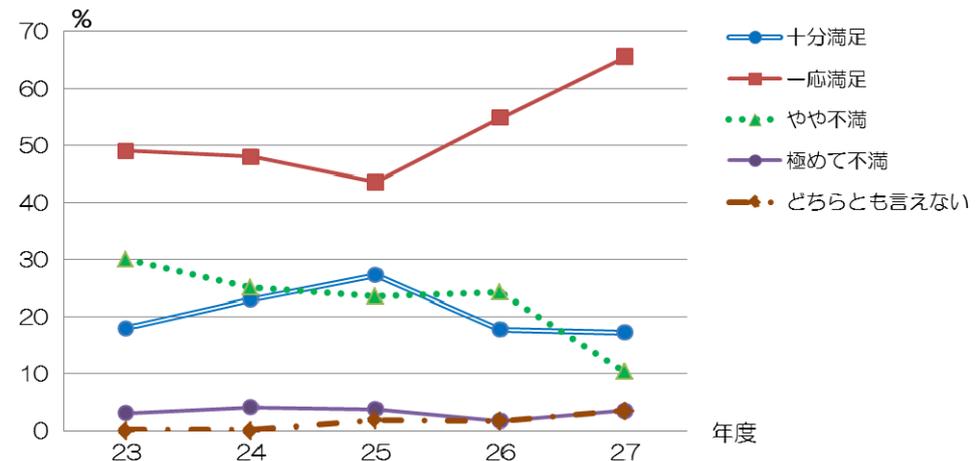
★ 暮らし全般の満足度について、平成27年度は『十分満足・一応満足』の割合が増加し、『やや不満・極めて不満』の割合は減少しています。



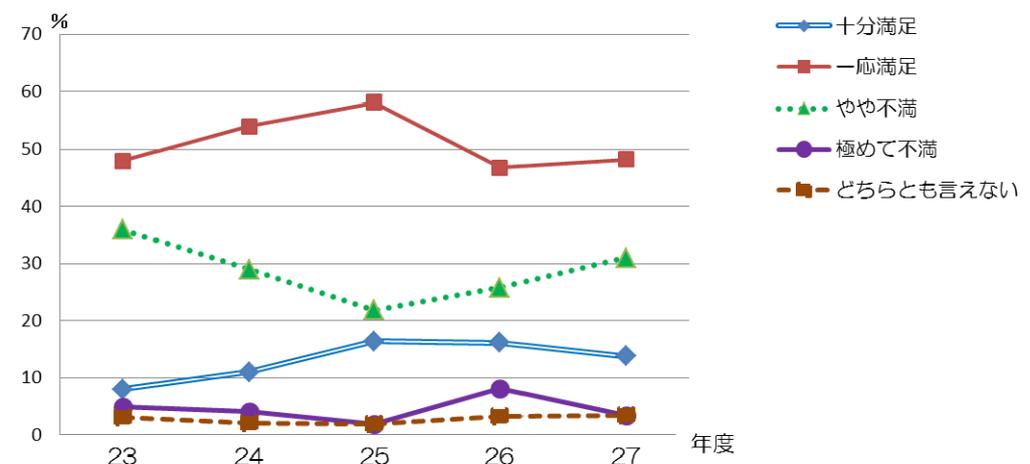
(3) 食生活について



(4) 住生活について

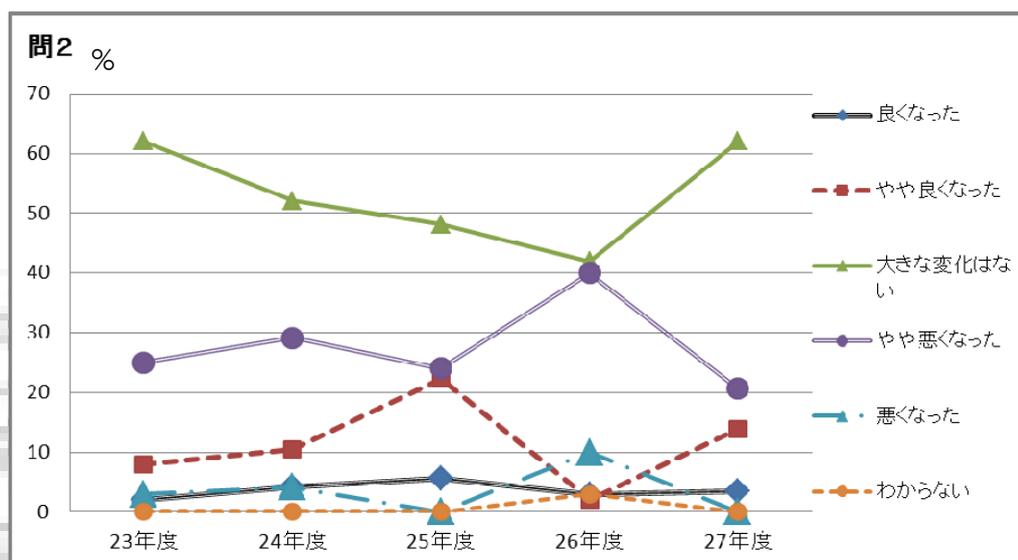


(5) レジャー・余暇について



- ★ 「一応満足」と回答した方が昨年度と比べ上昇しました。
- (5)を除き、「やや不満」と回答した方は、昨年よりも減少しました。

問2 あなたの家庭の暮らし向きは、昨年と比べて変化はありましたか？



- ★ 暮らし向きについて、「大きな変化はない」と回答した方が一番多く、62パーセントとなったが、昨年と比べると、20パーセント上昇しました。「やや悪くなった」と回答した方は、昨年よりも19パーセント減少しました。

《具体的な理由》

1 良くなった

- ・ 子どもの一人が社会人となり、学費が不要となった。

2 やや良くなった

- ・ 住宅ローンの乗り換えにより、1ヶ月の負担が7,000円減った。
- ・ 自営業をやっているが、売上がよくなった。
- ・ 体調が良くなってきたので、気分的にも昨年よりは楽になる。
- ・ 家庭菜園をやっているのと、母がたまに食材を送ってきてくれるので。

3 大きな変化はない

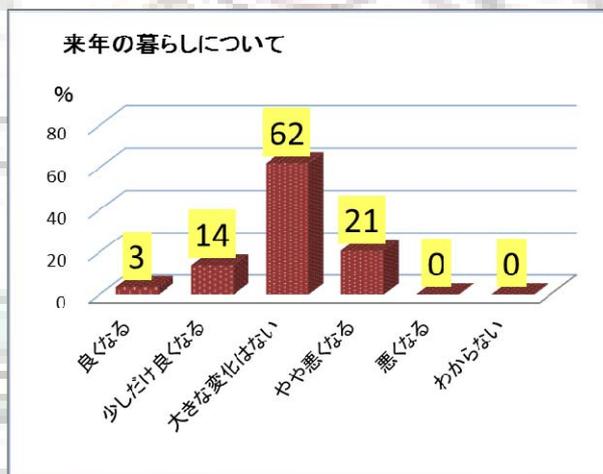
- ・ 収入に変化も無く、又、支出も特に大きなものが無かった。
- ・ 年金生活の為、特別収入が多くなることは無いので、例年変化は無い。
- ・ 家族のライフステージに変化がなく、消費に変化がない。
- ・ 大きな病気もなく、支出が大幅に増えることもない。
- ・ 子どもたちの学費が大きな負担となっている。
- ・ 感覚的には「変化なし」といった感じ。
- ・ 夫が健康に問題なく、現役で働いている。子ども2人は社会人。下の子どもが昨年より社会人なので、教育費の負担が無くなり楽になった。

- ムダを省いた生活をしているので、特にない。
- 年金生活者。収入が一定であり変化をおさえている。

4 やや悪くなった

- 息子が結婚して、家計の収入が減った分、使える金額が減った。
- 収入は年金のみだが、物価がじわじわと上がっている様に思う。
- 主人が手術、入院等ですべてが大変でした（金銭的、家族全員が多忙）。
- 年金の目減りによる収入減。
- 貯蓄が減少し、将来的には不安が増した。

問3 あなたの家庭の暮らし向きは、来年の今頃にはどのように変化していると思いますか？



《具体的な理由》

1 良くなる

- 現時点で来年の仕事が決まってきたため、売り上げがよくなると思われる。

2 少しだけ良くなる

- 収入が減った事を考慮し、それに合った生活をするように無駄な支出を見直す。
- 下の子が幼稚園を卒園するため。幼稚園の負担が減るため。
- 断捨離本を読み、極力ムダな買い物をしないよう努力している。
- 子どもが社会人になっている予定。そのため、教育費がなくなって、金銭面での余裕が出来ていると思っている。
- 特価品を購入するようにしているため。
- 子どもが社会人となり収入が若干増加する見込み。

3 大きな変化はない

- 年金生活の為に特別収入が多くなることは無いので、例年変化は無い。
- 収入は変わらないので… 消費税UPが心配。
- 短期間においては、ライフステージに変化がないため（病気になったり重大な事柄が起きないかぎり）。
- 夫の退職で収入は減少するが、貯えもあり大きく変わる事はないと思う。
- 来年も学費がかかるので、変化しないと思う。
- 来年も家族全員健康でいられるよう願って「大きな変化はない」を選んだ。
- 景気回復は望めない。
- 家族全員が健康に問題なく暮らしていれば、という希望的前提のもとに。
- 来年も今年の収入とさほど変わらないと思うため。

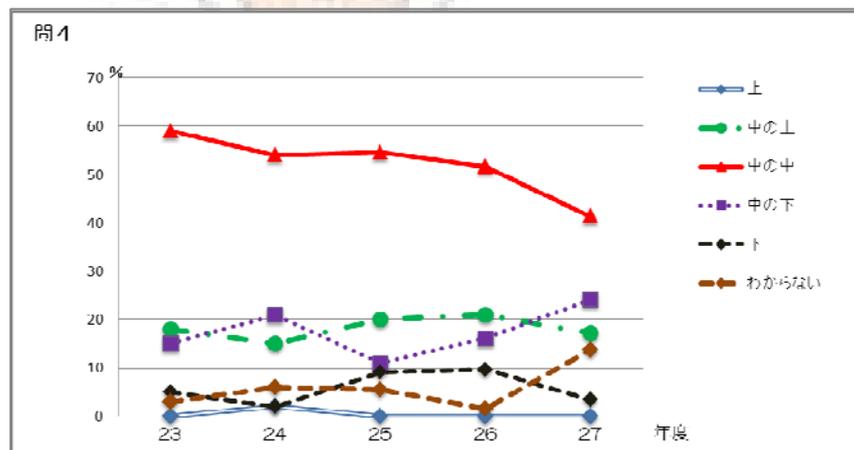
4 やや悪くなる

- 遠くにいる両親が高齢のため、行き来に支出が増えると思われる。
- もしかすると2年後消費税が10%になる懸念もある！ その便乗値上げも心配されるところである。また、マイナンバー制度が導入されて、実際は関係ないのに「どさくさにまぎれて」出費が増えるかも知れない。
- 収入の減額に反し諸税が上がり、必要経費が増えると思われる。
- 消費税UP、医療費も多くなると思う。年金額が少なくなり、高齢者医療保険UPになる。
- 子どもが高校入学と大学受験を控えており、これからもっとお金がかかると思う。
- 少しずつ将来に対する不安が増していくと思われる。

6 わからない

- 良くなっていけばいいな…と思うけれど…。先のことはわからない。

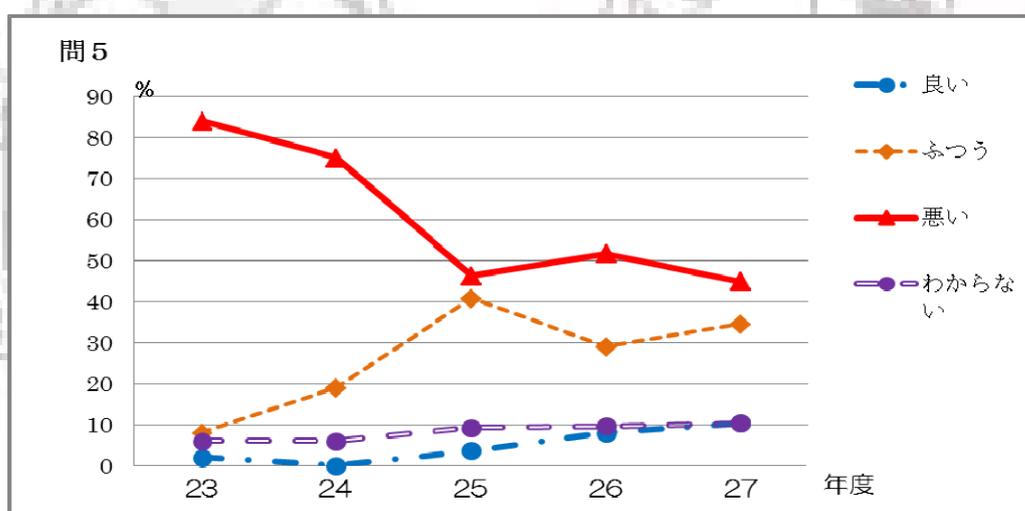
問4 あなたの生活水準は世間一般から見て、どこに当たると思われますか？



★ 「中の中」と感じる方が一番多く、41%の方がそう感じていますが、昨年より減少しています。「中の下」「わからない」と感じる方は昨年よりも上昇しています。



問5 現在、あなたは景気についてどの様に感じていますか？



★ 景気について、「悪い」と感じる方が、前は52%でしたが、今回は45%に減少しました。また、「普通」と感じる方が、前は29%でしたが、今回は34%に上昇しています。「良い」と感じる方も、前回の8%から10%に上昇しました。

《具体的な理由》

1 良い

- 3～4年前と比べたら、株価が高くなった分景気が良くなったと感じている。円安も輸出会社には良い材料ですが、輸入会社には痛手だと思う。
- 株式市場の上場銘柄の業績が今期も5%以上増える。
- 繁華街、大型SCの賑わいぶりから見ての感想。

2 ふつう

- 給料が増えたわけではないから。



- 特に良いとは感じないが、悪いとも思わないから。平日は閑古鳥が鳴いているようなお店も、週末となれば賑わっていて、人気のお店はいつも行列が出来て人気商品はすぐに売り切れている。
- 海外では不景気だと暴動が起こっている国も多いですが、日本ではあまり暴動はないので普通かなと思う。
- 物価は上がっていますが（消費税改訂等）、収入には変化がない。
- 特段、景気が良いとも悪いとも思わない。
- さほど、過去と暮らしぶりが変わらない。
- 政府の方で色々な景気高揚策を考えているようだが、実際にそれが効を奏すかどうか判らず、同じ様な状態が続いている様な気がする。
- 私の周りでは、切り詰めて生活しているようには見えない。

3 思い

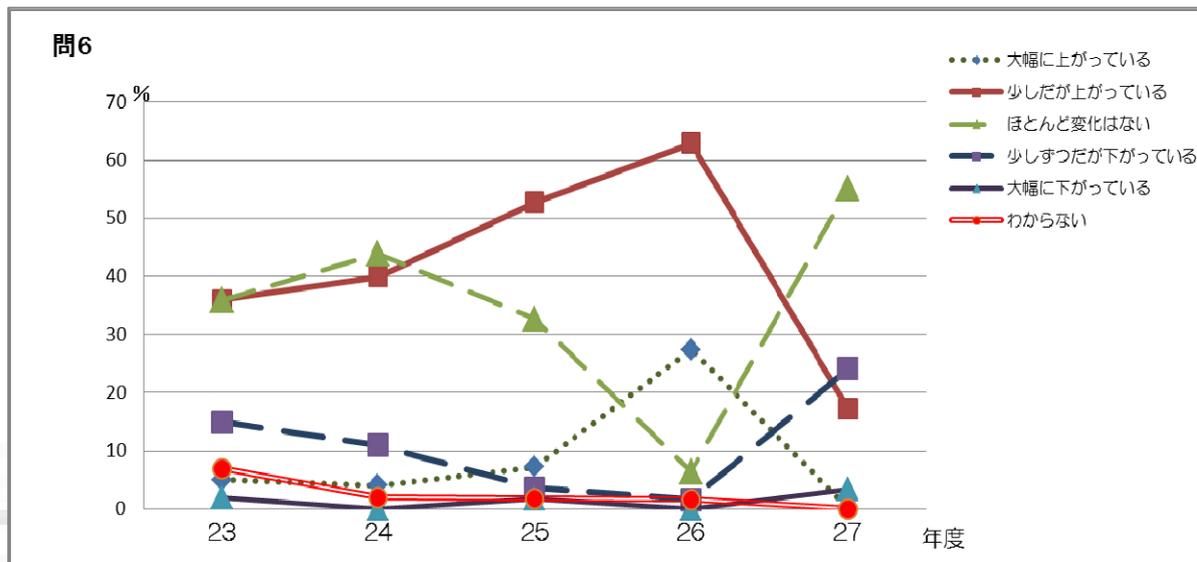
- 消費者物価指数全般では僅かな上昇であるが、円安で食料品価格が大きく上昇している。手取り収入が減少しているので、景気が良いという実感は無い。
- 若い知人や子どもなどから生活苦の話をよく聞く。
- 浮かれている様に見えるが、景気は良くなったようには（一部を除いて）見受けられない。
- 非正規社員が増え、格差社会になっていて、経済がうまく回っていないように思う。
- 中小企業の社長は、誰に会っても厳しいとしか言わない。
- 心配です。消費税などUP。貧しい人にはキビしい。
- 最近は野菜の価格が下がってきたが、夏場は気温が高く野菜が買えず、夕方になると値引シールが貼られる時間になってからスーパーへ買物に行くしかなかった。
- 物価が上がっている。
- デフレに戻っているようだ（GDPがマイナス）。
- 年金生活なので、収入が増えることは無いので、物価の上昇は大変気になる。
- スーパーの特売日の人の多さ。

4 わからない

- 本当のところはどうなの？と思う。常に。



問6 あなたが日常生活を送る上で、物価について、昨年の今頃と比べてどの様に感じますか？



★ 物価について、「ほとんど変化がない」・「少しずつだが下がっている」と感じている方が、前回よりもそれぞれ上昇しており、「大幅に上がっている」・「少しだが上がっている」と答えられた方は減少しています。

《具体的な理由》

1 大幅に上がっている

- 消費税の値上がりがあるまま商品に上乗せさせられていると思う。
- 消費税が10%になるから。
- 毎月、決まった金額で生活しているつもりだが、今年は毎月赤字！ 預貯金がだんだん少なくなっている。
- 単価が上がっている。

2 少しだが上がっている

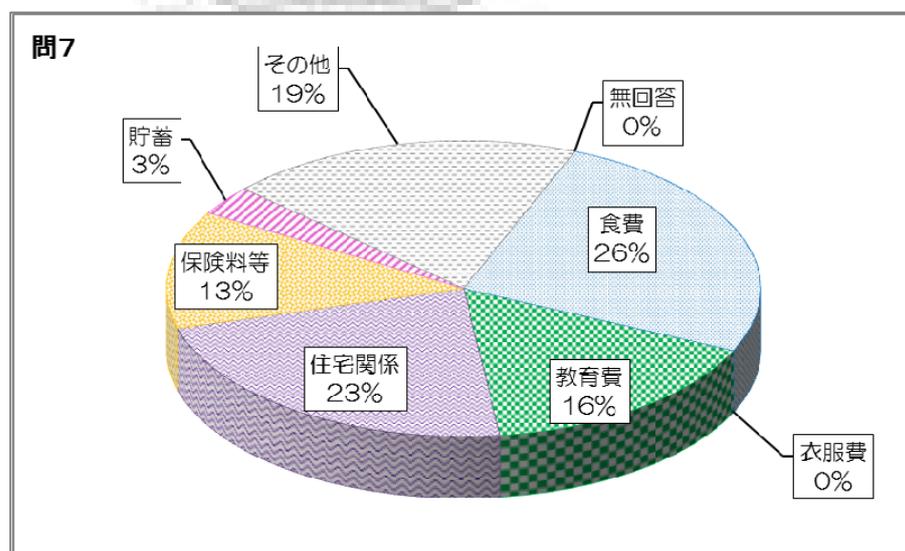
- ガソリン価格は下がっているが、食料品は上がっている。全体としては、少し上がっていると感じる。
- 外食店の単価が上がったように思う。
- 気を付けて見ると、全ての商品の価格が上がっている様に感じる。特に消費税。感じとしては、1（大幅に上がっている）と2（少しだが上がっている）の間。
- 売値が安くなったものもあるが、どちらかといえば、内容量を少なくしたりして、実質的値上げを気付かなくしている巧妙なやり方のものが、多い様な気がする。

- 消費税が8%になった時に便乗値上げがあったような気がする。また、円安で輸入品も値上がりしている。
- 消費税のUPに伴う物価の値上げ。
- 消費税が大幅に上がった、天災、長雨とかで野菜等の出来にムラがあったりで物価が上がっているような気がする。
- 食品だけしか買入していませんが、同じ価格だったら必ず量が減少している。子育て中の人には大変。
- 卵、乳製品、野菜など上がっている気がする。
- デフレ脱却とかいって物価の上昇を政策推進しています。実効をみていないといわれていますが、ガソリンを除けば確実に上昇し、生活を圧迫している。国民の生活を圧迫しての政策は正しいのだろうか。
- 肉・魚類は安くなっているように感じますが、輸入品は高くなっています。
- いろいろな物が上がっている。
- 消費税の増税分。
- 食費がかかるようになっている。

3 ほとんど変化はない

- 消費税は上がりましたが、だからといって生活に影響しているとは思えない。
- 衣食住が大きな変化がない。
- 必要なモノだけを買うように心がけているので…変化は無いと感じる。
- 消費税が変わっているので、買物の負担が大きく感じる。
- 家計簿をつけていないので、大雑把な感覚。
- 個別の変動はあるが、家計全体を見れば、支出が大きく増加しているわけではない。
- 食料品の値段に変化は感じられない。

問7 あなたが日常生活を送る上で、現在1番生活を圧迫している費用は何ですか？



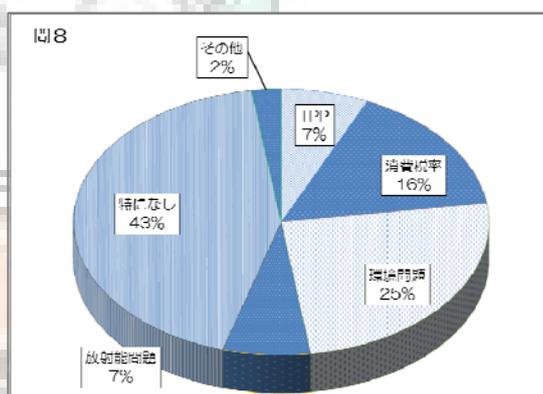
★ 昨年の調査と同様に第1位が「食費」で、以下「住宅関係」、「教育費」の順となりました。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
第1位	保険料等	住宅関係	食費	食費	食費
第2位	貯蓄	保険料等	住宅関係	教育費／住宅関係	住宅関係
第3位	食費	貯蓄	その他	保険料等	教育費

《その他・補足意見》

- 健康・介護等の保険料が値上がりし、手取り収入が減少している。
- 食費を一番重点に置いている。孫や子供の食事を管理しているので、食費の支出が大きく負担。
- 低金利といっても、まだまだ一ヶ月の利息は高く、ローン完済ができない限り違うことに運用できないので、貯蓄を増やしたいと思う。
- 変動するのは食費だけ。他は一定。
- 小さいお子さんばかりではなく、大学生にももう少し優しい制度があれば助かります。一番お金がかかる。
- 少量しか購入していませんが、全体に値上がり。
- 交際費、冠婚葬祭費等。
- 給湯器の修理。思わぬ出費でびっくり！ 早急に直してもらったが想定外だった。
- 貯蓄は減るばかり。死ぬまで足りるのだろうか。
- 税金・健保・病院の費用。
- 電化製品の買換えが今年、来年と多いので。

問8 あなたが、暮らしの中で不安に思うことはありますか？



「環境問題」、「消費税率」、「放射能問題」、「TPP」の順となっており、「特になし」と回答された方は43%になりました。

《その他》

- 非正規社員が4割近くになっている現状。その人達の生活状態や、彼らの先が見えない今後を考えると不安になる。

- 環境問題、放射能他、次世代への不安、当面は自分自身の事として、年金や医療、介護等の低下が不安材料です。
- ISによるテロ。覚醒剤などの使用による無差別殺人の可能性。
- TPPで遺伝子組換え作物を輸入させられる。拒否するとISD条項で訴訟される。
- 自然災害（地震など）。
- 自分の事として老人ホーム等の経費、又、受け入れについて。
- 医療費が現在でも3割負担で大変ですが、入院等が発生したら、それこそ大変だ。
- テロなど
- 環境問題 …… 国際間の調整が難航している。
- 高齢者問題 …… 2025年に75歳以上の高齢者人口が2,200万人になると予想され、介護、医療費、高齢者を支えるシステムの構築など懸念材料多い。
- テロ問題 …… 軍隊、警察だけでは片付けられない。

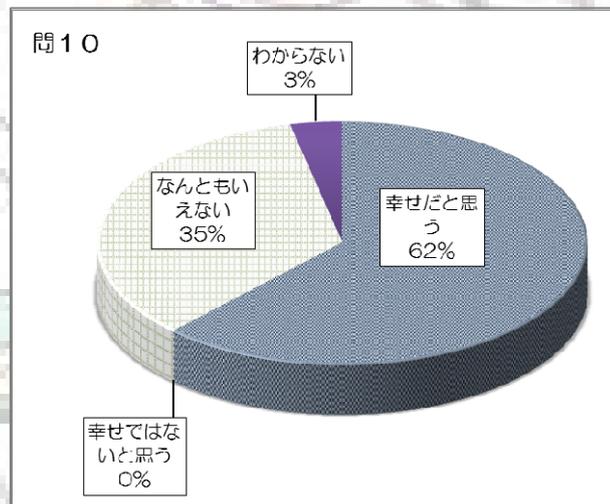
問9 あなたにとって「ゆとりのある生活」とはどのような暮らしですか？

《自由意見》

- 健康に恵まれ、親しい仲間が居て、寂しさを感じない生活。
- 自分のためだけではなく周りの人たち、家族や親などのために、躊躇なくお金を使えるようになれば「ゆとり」を感じると思う（大きなお金という意味）。必要なもの以上に、何かにお金を使える状態。
- 年金の範囲で暮らせ、ボランティアや余暇を有意義に過ごす事。
- 子どもが学校を卒業して、働き始めてから。
- 自分の自由になるお金を得て、衣食住ができるとき。
- 「経済的なゆとり」に限定すると、やはり、予算より小額で済むことが多いということかも知れない。
- ぜいたくを望めば、キリがない。ゆとりとは感じるもの。
- 1年に何回か旅行に行く事が出来、外出した時等に財布を気にせず食事が出来、晩酌の酒が2リットル1,000円の箱酒ではなく、銘酒が飲めること。
- ささやかなコト（季節の移り変わり、風のおい、道端の花…etc）に目や心が向く生活。
- 健康で、自分の望むものがある程度自由に購入することの出来る生活。
- 支出に必要な貯えがある程度あり、時々旅行などにも行ける。病気になった時、医療費の心配をせずに治療できる。
- 健康で、日常生活に困らず、レジャー、旅行等に年何回か行けるという事です。
- 食料品の購入時、お金の心配をしなくて買い物ができること、そして家賃、公共料金の支払いを気にせずに生活出来ること。そして、興味を持って生活していること。
- 気持がガサガサせず、のんびり、好きな映画や芝居、旅行 etc。

- 経済的ゆとり、精神的ゆとり、時間的ゆとり、この三つがバランス良く保てるのが理想の生活。
- 朝起きて、三食食べることができ、風呂に入り、布団で寝られるあたりまえの生活ができること。
- 子どもが自立すること。子どもを扶養している間は、食費、衣服費、通信費、教育費などいくらでもお金がかかり、ゆとりのある生活は無理だと思う。
- 資産が減ることなく、日常生活を送ること。
- 年金を多くいただけて、社会保険料が少ない額ならゆとりが生じる。
- 日常の生活が満足に出来、年2回程度の旅行が出来、孫に小遣いがやれる生活。
- 精神的、金銭的、身体的に将来余裕があること。
- 基本的には収入が残る生活であること。健康で、自分の趣味、社会貢献に活動のある生活。

問10 あなたは今、幸せだと感じていますか？



《具体的な理由》

1 幸せだと思う

- 毎日がとても楽しく、今が一番幸せだと実感している。
- 衣食住に不満がなく、家族も皆、幸せにしているから、今後両親のことだけが心配だが、それは「行く道」と思っているので、不幸ではない。
- ボランティアの代表として、活動の場に恵まれている。孫や家族に囲まれ頼りにされている。
- 衣食住が足りている事。
- 家族が健康で暮らしているので。
- 自分の条件に合うパートの仕事をみつけ、その仕事内容が好きだから。
- まだ、妻に「出て行け！」と言われないから… 安い食材ながら毎日、三食おいしい食事も頂いているので…。
- ささやかなコトに感謝できるようになってきたので。

- とりあえず、健康で（家族全員が）少々ではありますが、購入したいものを買入出来る様な生活が送れているため。好きな仕事を続ける事ができる。
- 家人との関係も良好で、金銭的にも心配のない暮らしができる。
- 家族共に病気もせず、豪華ではないが家族での旅行や食事会が出来ている。
- 家族や仲の良い友達がいて、相談できる。又、自分の好きなフラダンスを踊り、大正琴が出来る。

3 なんともいえない

- 計画が予定通りうまくいくこともあれば、その反対にこの難題は自分には解決出来ないかも知れないというものも時々あるので。どこに視点を置くかで、感じ方が変わってくるかも知れない。
- 幸せとも不幸とも言えない。
- 年金減と健康。
- 将来の不安が解消されればね！
- 仕事に追われすぎている。
- これから先の政治経済等の不安。

4 わからない

- 何を以って幸せと考えるべきか、自分の中に答えがない。

問11 消費税率が、平成26年4月から8%になりました。さらに平成29年4月から10%に引き上げられる予定ですが、御自分の生活にどのような変化があると思いますか？ 自由にご記入ください。

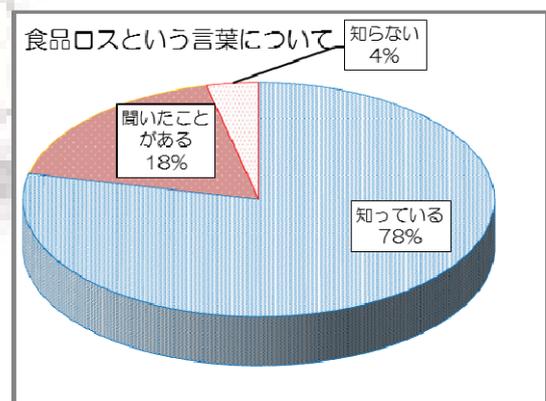
《自由意見》

- 生活に変化は無いと思う。使えるお金の範囲内で生活できるよう工夫する。
- 水準を急に落とせない「食」に大きな影響があるのではと思っている。よく外食するのだが、回数が減ると思う。
ふと、今までの税率で頭の中で計算してしまうだろうから、しばらくは買い物に慎重になるかも知れない。
- 大幅に出費が増え、行動範囲と購買力が小さく、狭くなる。
- 主人が定年になり、生活が苦しくなるような気がする。
- あまり変わらないと思います。それなりに安いお店で購入したりすればレジャーにも行けると思う。
- 子どもの成長期にあたり、食費や教育費に重くのしかかると思うと、仕事時間を増やすことが必須条件になってくるかと思う。
- 自分にとって本当に必要なものかどうかを慎重に考えて、それ程必要と感じない場合は、比較的買い控えを教えるようになるだろうと思う。

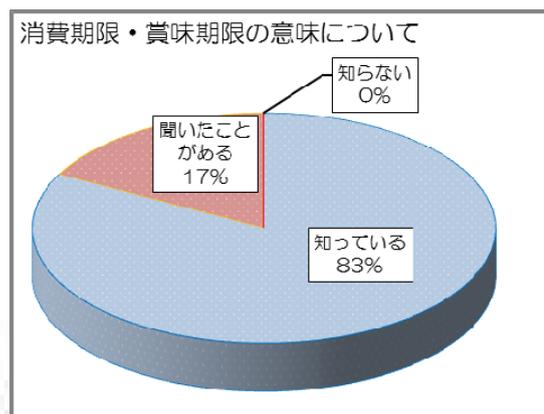
- 消費税は逆進性である。年金生活者には大きく響く。
- 光熱、水道代等は切り詰める所が無いほど切り詰めているので、食費等を切り詰める様になると思う。
- 税金が上がってもすぐに転嫁できず、苦しい状況になると思う。
- 今ある無駄を無くし、（さらに）交際費等をけずるような気がする。
- 家計費の負担が増すので、ムダな買物は控えると思う。
- 収入が増える見込みが無いのに税の負担増が増えれば、出費を抑える工夫をするようになる。
- 個人的には大きな変化はないだろうと思っている。会社勤めの時に衣服にお金がかかり2%の消費税アップはこたえたが、現在はこの項目がなくなったので、消費税アップは気にならない。
- 消費税は生きる為の食に関するものは、10%に値上げは困る。もっと高額所得の人から取る事をしてください。外食も安価なものは値上げせず、高額なゼイタクは値上したりしても可。小さな楽しみを取り上げないで!!
- 消費税率アップは日本の将来を考えれば、当然のことと納得している。そうはいつでも、大型家電などの購入は、来年度中にと考えたくなる（エアコン、ビルトイン食洗機、ガス給湯器が買い換えの時期を過ぎている）。
- 今でも赤字生活なので、せめて病院にかからないように日々の食事に注意していただきたいと思います。
- 5人家族の為、消費が多いので家計に与える負担が心配。
- 変わらないが、交通費の値上げが痛そうだ。
- 食生活以外は、本当に必要な物だけを買うような生活をしたいと思っている。
- ◎生活必需品（食品・衣料）でも無駄を省く。
◎質の良い品物を選ぶ。
◎水道、ガス、電気の効率的な使用。

～食品に関する意識調査～

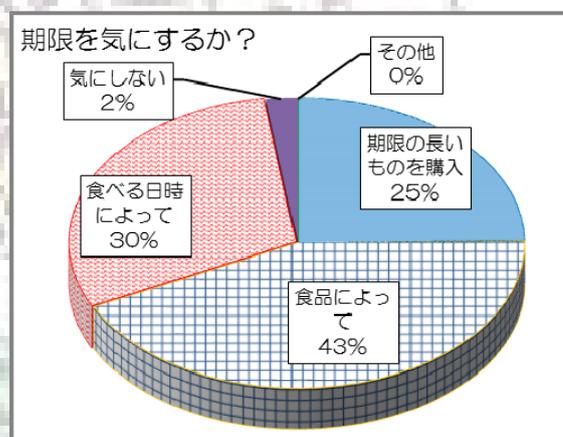
問1 「食品ロス」という言葉を知っていますか？



問2 賞味期限・消費期限のそれぞれの意味を知っていますか？



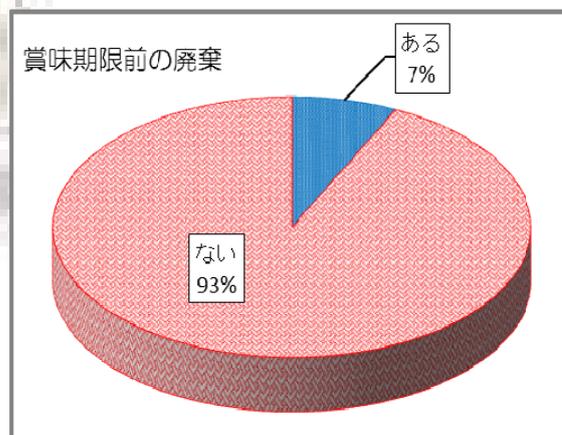
問3 買い物をするとき、期限を気にしますか？（複数回答可）



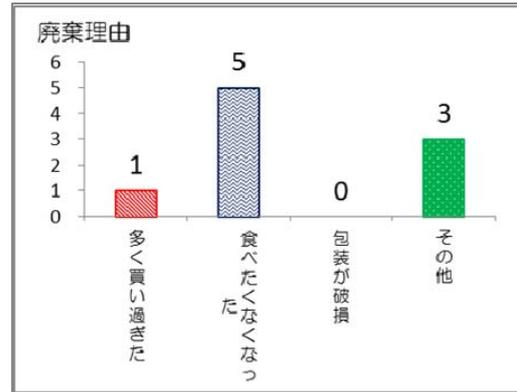
《その他・補足意見》

- ・ 時にいただいたり、買い過ぎたりしてムダにする事がある。
- ・ ぎりぎりの期限でも、すぐ食べるので選択する。
- ・ 食品を無駄にしないよう考えている。

問4 賞味期限（おいしく食べることができる期限であり、期限をすぎてもすぐに食べられないということではない。主な食品は、カップ麺や缶詰など。）前に、食品を廃棄したことがありますか？



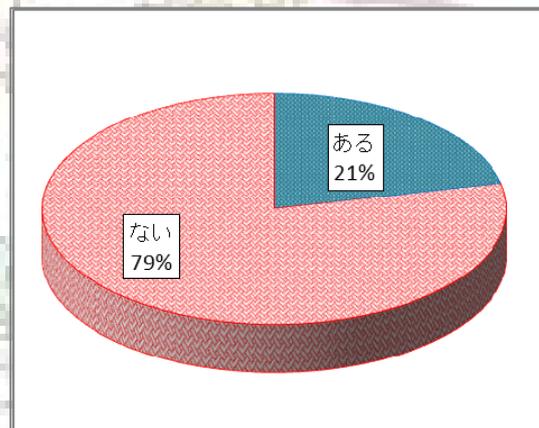
問5 賞味期限前に廃棄した理由はなんですか？（複数回答可）



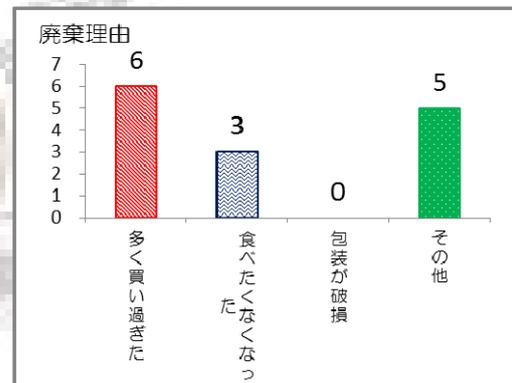
《その他・補足意見》

- 賞味期限前であっても、腐敗しかけていたから。
- しまい忘れをし、それに気づいた時は、賞味期限が1年以上も過ぎてしまっていた。

問6 消費期限（期限をすぎたら食べない方がいいもの。主な食品は、サンドイッチやお弁当など）前に、食品を廃棄したことがありますか？



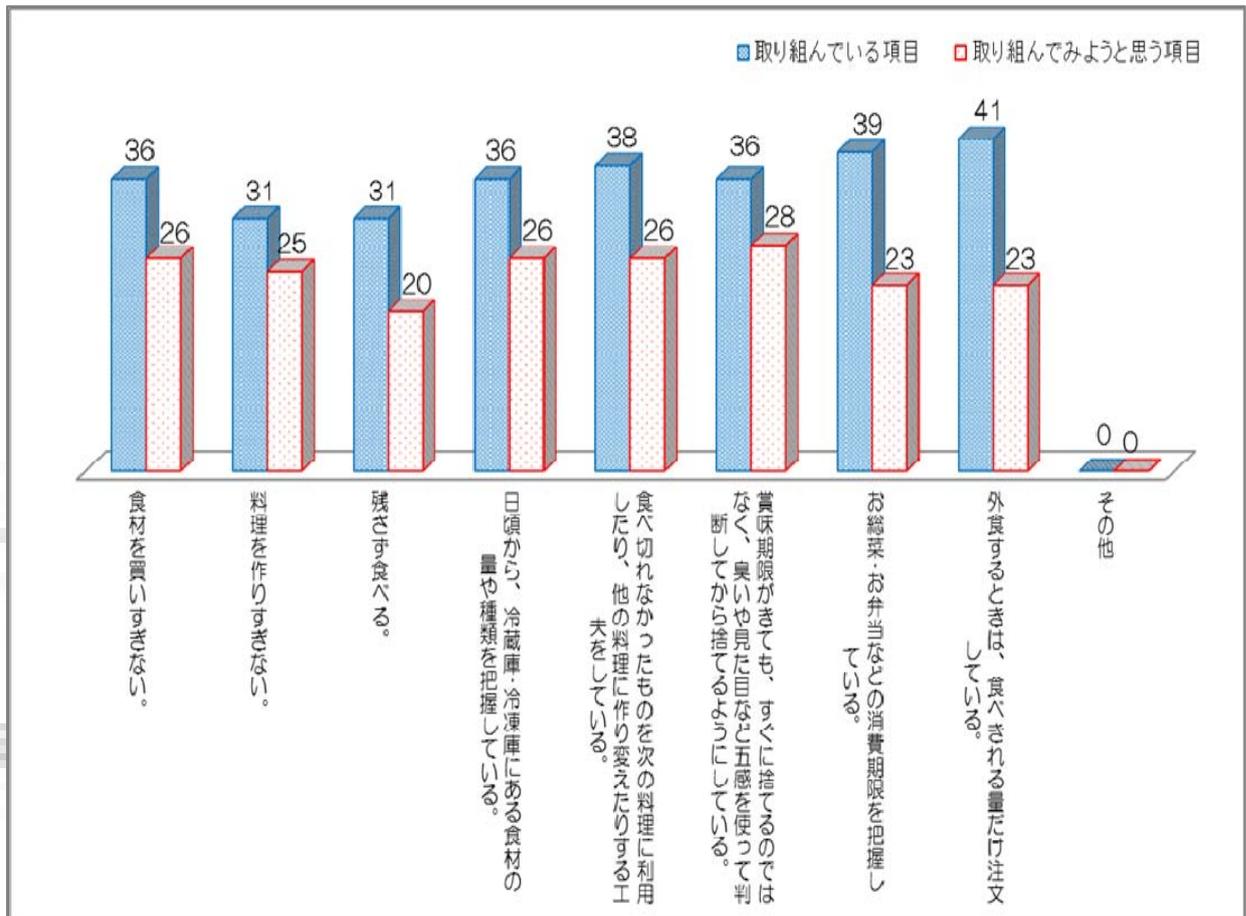
問7 消費期限前に廃棄した理由はなんですか？（複数回答可）



《その他・補足意見》

- 体調不良等になると心配。
- 味が変わったから、万一を考えて処分した。
- 傷んでいたことがある。

問8 次の項目で、Aすでに取り組んでいる項目はありますか？
B今後取り組んでみよと思う項目はありますか。



問9 その他ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

- 神奈川県では「未病を治す」に取り組んでいますが、県の講習会は申込者が多く、参加できない事があります。川崎市でもこのテーマに添った講習会を開催し、一人でも多くの人に健康になってもらえるよう、ご尽力をお願いします。
- TPP や国内自給率の事を考えると、食品ロスは減らさなければいけないと思うが、栄養指導や福祉の担当者の講義の際、賞味期限切れを盛んに気にしている。この辺から切り込んで行かないと、一般の方の意識は変わらないと思う。
- うちでは、子どもが3人います。そのため、買い過ぎという事はありません。買った買ったそばからすぐに食べてしまうので、残ることはほとんどないです。
- ムダ使いを減らすためにも、買い物前に冷蔵庫（同じもの！の二重買い etc）チェックを心がけています。便利なもの、かわいいものがあふれているので、本当に必要かどうかをいつも心がけています。

- 前出の項目でも考えたことだが、内容量を少なくして、売価を安くしているものが多く（特に味噌、しょう油などの調味料）、本当に消費者のさいふを考えて安くしたのか、単なるトリックなのか判らないものが大変多い。
- オレオレ詐欺で騙す人がいます。杭打ちデータの偽造で騙す人がいます。新聞でもワクチンの製造記録の偽造が報道されています。私たちの暮らしの中で、まだ知らない偽造、悪意があるように思います。賢くならなければいけません。限界があります。罰則強化やチェック強化等で、行政に期待するしかありません。
- これまでのアンケートでも思うことでしたが、このモニターに応募してくる人自体、消費者としての諸々の意識が高いと思われ、かつ、数が少なすぎますので、一般的な見解の収集には、無作為で100名以上を対象に実施しないと意味がないのではないのでしょうか。
- フードバンクという取組がある。多くの企業が取組に賛同して、食品ロスを減らせると良いと思う。
- 流通経路の短縮、フードマイレージに努めたい。
- 食料難に育った私達は、芋、麦、アワ、豆、何でも入っていたご飯で育ちました。これが、今の景気かしら。野草を食べ、野草を乾燥したお茶を頂き、好き嫌いなく、実は骨まで焼いたせんべい。あの頃がなつかしい。あの様な時代になったら、今の私を含め、どうなるか？
- 高齢者の暮らし向きは確実に苦しくなっている。経済の回復はデフレ脱却などではなく、小さな政府、ムダの削減、新しい価値の創造などをすすめるべき。政治家・行政の知恵が試されている。
- 悪徳商法に対して、厳しく取り締まってほしい。

